

1・6月の活動の結果と総括

1、建設アクション運動 相談状況

事業復活支援金等の申請相談、共済・国保のコロナウイルスに罹患した方の申請数は表で確認して下さい。

建設アクション相談・申請状況2022年

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	累計
事業復活支援金	3	20	19	21	23	0	86
その他コロナ関連相談	5	5	1	0	1	0	12
総合共済コロナ特例	3	5	10	12	20	8	58
国保感染症手当金	2	1	6	6	7	6	28

※2020年からの累計81件

2、KIYOKURU 運動 春のとりくみ総括

2022 年春の強化月間は、3 月から宣伝行動を開始すると共に、分会の組織強化に向けて、各分会が“どのような分会にしたいか”“仲間とどんな事をしたいか”を具体化し、行動計画を立てました。宣伝カー運行や統一チラシのポスティング、立て看板の張り出しなど、宣伝行動が積極的に取り組まれ、訪問行動も合わせた日曜行動が各分会で取り組まれました。滝山分会では新たに群長を引き受けた仲間が、三葉分会では事業所群の事業主が新たに立て看板の自宅設置を協力してくれたという報告があり、青空分会では初めて宣伝カー運行にチャレンジした仲間もいました。

KIYOKURU 行動としての訪問・対話件数は少なかったものの、4 月からの群会議再開に向けて、分会・群役員が連携して分会の仲間と連絡をとり、対話が進みました。2 年振りの群会議再開では感染に対する不安の声も寄せられましたが、感染防止対策を各群がしっかりと取り、特段の事情がある仲間には柔軟に対応しながら、また、多くの仲間の協力を得ながら、新たな形での群会議が再開しました。群長からは、「しばらくぶりに仲間の元気な姿に直面出来て良かった。元の活動に段々戻れる様願っています」という意見も寄せられました。訪問行動の特徴では、清里分会では新たな群役員に、三葉分会では立て看板設置協力者に、主婦の会カトレアの復興支援の取り組みの“わかめ・こんぶ”をプレゼントするなど工夫がありました。また、松竹分会では事前にアポイントを取ってからの日曜訪問行動に取り組み、しっかりと対話できたとの報告も寄せられました。

組織部で行った“友だち紹介 KIYOKURU 大作戦”は 10 人の仲間から紹介があり、12 人の新たな加入がありました。公式 LINE への登録促進キャンペーンは 21 人の仲間が参加し、登録者 60 人を超えました。抽選の当選者には清瀬市内の菓子店のお菓子セットをプレゼントし、地域の宣伝も合わせて行いました。

春の加入目標 60 人に対して、加入者は 44 人、6 月 1 日組織現勢は 1670 人で、1 月 1 日から 11 人の減勢です。2022 年は年明けから全都的に脱退する仲間の多い状況があり、“現勢プラス 1”を目指すには、群で、分会でしっかり仲間とつながって、組織定着を図るこ

とと、新たな仲間を迎え入れる必要があります。群会議の再開の中で、青空分会では新たに分会の役員を担う仲間も出て来ています。この間の仲間のつながりを強める取り組みに確信を持ち、7月の住宅デー、8月の流しそうめん交流会、10月の東京土建の日をつながり強化の“要”と捉え、夏・秋のKIYOKURU運動につなげていきます。

3、東久留米市民スタンディング

6月5日に東久留米伸大集会実行委員会主催の東久留米市民スタンディングを開催、12団体54人、支部からも17人が参加し、リレートークで各団体の要求と共に平和への訴えを行いました。東久留米駅西口と、ヨーカドー前の二手に分かれ、支部の仲間はヨーカドー前に参加しました。賑やかな宣伝に道行く市民もプラカードを読んだり、署名に協力してくれたりと好意的でした。最後はギターとフルートの演奏に載せて「戦争はイヤだ！」の歌声が響きました。

4、アスベスト新訴訟提訴

5月14日にアスベスト建材メーカー訴訟東京原告団結成総会が開かれ、6月7日、全国10の地方裁判所で建材企業に対して一斉提訴をしました。提訴したのは原告数で190人（東京土建は39人）、支部から2人が原告として参加しました。今回の訴訟は、建材企業に対して真摯な謝罪、訴訟の早期解決、すべての被害者を全面的に救済する制度への参加を決断させることを目的としています。

原告に参加した、吉野春夫さん（清里分会）と益子正子さん（遺族原告・元青空分会組合員のご家族）を支え、共に運動を進めます。

5、支部安全大会

6月27日（火）支部安全大会2022を支部会館とオンラインを併用で開催しました。全体の参加は19人で、支部安全標語の発表、安全衛生動画の視聴やリスクアセスメントを元にした危険予知活動をテーマに実施しました。参加者からは過去の労災の体験談や、自身で労災事故を起こさないように気を付けていることなどの話がありました。次回開催を秋から冬の時期に予定しています。

6、分会からの意見への回答

6月に分会の会議で寄せられた意見について報告します。複数の分会・群でハガキ要請行動に旺盛に取り組み、多くの仲間の協力が得られたと報告がありました。引き続き声掛けをお願いします。

また、群会議での資料配布については、種類の多さをもっと精査できなかつた意見がありました。分会執行委員会や群会議前に行う仕分けの負担が大きい事と、受け取る仲間も